

# 令和6年度 大井川の清流を守る研究協議会 総会

期 日：令和6年7月5日（金）10時～  
会 場：島田市 大井神社 宮美殿



大井川源流部

## 次 第

### 1 開 会

牧之原市長 杉本 基久雄 (副会長)

### 2 会長あいさつ

川根本町長 菌田 靖邦 (会長)

### 3 議 事

- ・ 報告第1号 令和5年度事業報告について
- ・ 認定第1号 令和5年度収支決算について
- ・ 議案第1号 役員改選について
- ・ 議案第2号 令和6年度事業計画(案)について
- ・ 議案第3号 令和6年度収支予算(案)について

### 4 来賓祝辞

静岡県議会議員

### 5 閉 会

島田市議会議長 藤本 善男 (副会長)

※ 総会終了後に講話を行います。

演題 井川社有林の森林経営 ～Sharing the Alps～

講師 十山株式会社 代表取締役社長 鈴木康平 氏

令和6年度 大井川の清流を守る研究協議会 会員名簿

	市 町 名	役 職 名	氏 名
1	島 田 市	市 長	そめ や 谷 きぬ よ 代 染 本 絹 男
		議 長	ふじもと よし お 男 藤 本 善 男
2	焼 津 市	市 長	なか の ひろみ ち 道 中 野 弘 道
		議 長	いしだ えり こ 子 石 田 江 利 子
3	掛 川 市	市 長	く ぼ た たか し 久 保 田 崇
		議 長	やまもと ゆうぞう 三 山 本 裕 三
4	藤 枝 市	市 長	きたむら しょうへい 平 北 村 正 平
		議 長	ゆ い かずゆき 行 油 井 和 行
5	袋 井 市	市 長	お お ば のりゆき 之 大 場 規 之
		議 長	すず き ひろ ちか 睦 鈴 木 弘 睦
6	御 前 崎 市	市 長	しも む ら まさる 勝 下 村 勝
		議 長	あ つ み まさひろ 裕 渥 美 昌 裕
7	菊 川 市	市 長	は せ が わ ひろ ひこ 彦 長 谷 川 寛 彦
		議 長	や ま し た おさむ 修 山 下 修
8	牧 之 原 市	市 長	すぎ もと き く お 雄 杉 本 基 久 雄
		議 長	む ら た ひろ ひ で 英 村 田 博 英
9	吉 田 町	町 長	た む ら のり ひ こ 彦 田 村 典 彦
		議 長	お お い し いわお 巖 大 石 巖
10	川 根 本 町	町 長	そ の た や す く に 邦 蘭 田 靖 邦
		議 長	い し や ま き み お 夫 石 山 貴 美 夫

令和6年度 大井川の清流を守る研究協議会 会員名簿

(敬称略)

	役 職 名	役 職	氏 名
1	相 談 役	県 議 会 議 員	大 石 健 司
2		県 議 会 議 員	河 原 崎 聖
3		県 議 会 議 員	櫻 井 勝 郎
4		県 議 会 議 員	河 原 崎 全
5		県 議 会 議 員	赤 堀 慎 吾
6		県 議 会 議 員	小 沼 秀 朗
7		県 議 会 議 員	増 田 享 大
8		県 議 会 議 員	良 知 淳 行
9		県 議 会 議 員	塚 本 大
10		県 議 会 議 員	西 原 明 美
11		県 議 会 議 員	落 合 慎 悟
12		県 議 会 議 員	佐 野 愛 子
13		県 議 会 議 員	伊 藤 和 子
14		県 議 会 議 員	伊 藤 謙 一

令和6年度 大井川の清流を守る研究協議会 幹事・担当者名簿

	市町名	所 属	職 名	氏 名	連 絡 先			備 考
					TEL	FAX	E-mail	
1	島 田 市	戦略推進課	課 長	おの まきのり 小野 晶規	0547-36-7120	0547-34-1425	senryakusuishin@city.shimada.lg.jp	
			主 事	そね つばき 曾根 翼				
2	焼 津 市	政策企画課	課 長	ふじの だい 藤野 大	054-626-2141	054-627-9334	kikaku@city.yaizu.lg.jp	
			主 査	あんどう あきよし 安藤 輝嘉				
3	掛 川 市	企画政策課	課 長	なかむら みつひろ 中村 光宏	0537-21-1127	0537-21-1167	kikaku@city.kakegawa.shizuoka.jp	
			主 事	まつだ けん 松田 賢都				
4	藤 枝 市	広域連携課	課 長	みた まさや 三田 雅也	054-643-3229	054-643-3604	renkei@city.fujieda.lg.jp	
			係 長	やまぐち まさよし 山口 雅義				
5	袋 井 市	農 政 課	課 長	すずき よしかず 鈴木 賢和	0538-44-3360	0538-44-3153	nousei@city.fukuroi.lg.jp	
			課長補佐	あだち なおき 足立 直紀				
6	御前崎市	企画政策課	課 長	さいとう まこと 齊藤 誠	0537-85-1161	0537-85-1137	kikaku@city.omaezaki.shizuoka.jp	
			係 長	ながしま ひさと 長島 久人				
7	菊 川 市	企画政策課	課 長	おちあい ようへい 落合 要平	0537-35-0900	0537-35-2117	kikaku@city.kikugawa.shizuoka.jp	
			主 事	さとう か 佐藤 夏菜				
8	牧之原市	企画政策課	課 長	ほんま なおき 本間 直樹	0548-23-0045	0548-23-0059	seisaku@city.makinohara.lg.jp	
			係 長	おおい まさゆき 大石 雅之				
9	吉 田 町	企 画 課	課 長	いしま ともしぶろう 石間 智三郎	0548-33-2136	0548-33-2162	kikaku@town.yoshida.shizuoka.jp	
			主 事	ながた ひとし 永田 仁志				
10	川根本町	くらし環境課	課 長	かざま かずあき 風間 一章	0547-56-2236	0547-56-1117	kurashi-kankyo@town.kawanehon.lg.jp	
			主 幹	やまだ たかゆき 山田 貴之				

# 令和5年度 大井川の清流を守る研究協議会 事業報告

## 1 会議

### ■ 通常総会

日時 令和5年7月10日（月）午後2時00分～午後4時00分

場所 島田市 大井神社 宮美殿

- 議事
- (1) 令和4年度事業報告について
  - (2) 令和4年度収支決算について
  - (3) 令和5年度事業計画(案)について
  - (4) 令和5年度収支予算(案)について

講話 演題 「大井川の水と堆砂対策」

講師 静岡県交通基盤部河川砂防局 河川企画課長 山田真史 氏

### ■ 幹事会

月 日	会 場	協 議 内 容
令和5年 5月26日（金）	島田市 大井神社 宮美殿	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和5年度 協議会会員・各市町幹事・担当者名簿について（報告）</li><li>・令和4年度 事業報告並びに仮決算書について</li><li>・令和5年度 事業計画（案）並びに予算（案）について</li><li>・令和5年度 総会について</li></ul>

## 2 事業

事業名	月日	会場	内容
大井川を知る総合学習 学校出前講座 (資料 No. 1)	令和5年 10月4日(水) ～10月30日(月)	構成市町 各小学校	大井川出前講座 5校(7クラス) 193人受講 (詳細 別表参照)
大井川の源流部を学ぶ 視察会(公募事業) (資料 No. 2)	令和5年 10月29日(日)	大井川 源流部	畑薙第一ダム、田代ダム、リニア 工事関係個所の視察(樫島ロ ッジ及び燕沢付近) 参加者 17人 事務局関係: 3人 (応募者 80人)
大井川用水を学ぶ 視察会(公募事業) (資料 No. 3)	令和6年 3月1日(金)	大井川 下流域	相賀浄水場、川口発電所、川口 取水口、神座分水工、牧之原貯 水施設、松島分水工、菊川頭首 工、栃山頭首工等の視察 参加者 35人 事務局関係: 4人
協議会啓発事業	令和5年4月 ～令和6年3月	—	ホームページの運営管理 (株サンロフトへ委託)

## 3 流域圏活動の推進

事業名	月日	会場	内容
リニア中央新幹線建設 に伴う先進地視察 (資料 No. 4)	令和5年 9月30日(土)	山梨県内	リニア中央新幹線関連施設の視察 (走行試験立会、橋梁工事視察、 概要説明他) 構成市町会員及び市町担当職員 参加者 34人

・その他の事業については、開催しておりません。

## 令和5年度 大井川の清流を守る研究協議会 収支決算（案）

収入合計                    3,099,567 円

支出合計                    1,130,434 円

差引残額                    1,969,133 円

### 1 収入の部

項目	予算額	補正額	予算現額	決算額	比較増減	説明
1 会費	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	0	10万円×8市2町
2 繰越金	2,047,457	0	2,047,457	2,047,547	90	前年度繰越金
3 雑収入	60,543	0	60,543	52,020	△ 8,523	視察会参加料 52,000円 預金利息 20円
合計	3,108,000	0	3,108,000	3,099,567	△ 8,433	

### 2 支出の部

項目	予算額	補正額 (流充用)	予算現額	決算額	不用額	説明
1 会議費	200,000	0	200,000	155,650	44,350	幹事会 48,400円 総会 107,250円
2 事業費	2,812,000	0	2,812,000	942,470	1,869,530	
(1)現状視察研修費	540,000	0	540,000	420,910	119,090	源流部 183,400円 下流域 237,510円
(2)大井川環境教育出前講座	400,000	0	400,000	75,000	325,000	講師謝礼 5校 75,000円
(3)啓発事業費	172,000	0	172,000	82,500	89,500	HP 移行料 77,000円 HP 更新費 5,500円
(4)流域圏活動費	1,700,000	0	1,700,000	364,060	1,335,940	リニア視察会バス代他 244,160円 大井川絵図（増刷分） 119,900円
3 事務費	46,000	0	46,000	32,314	13,686	振込手数料 4,840円 郵送料 21,840円 事務消耗品 5,634円
4 予備費	50,000	0	50,000	0	50,000	
合計	3,108,000	0	3,108,000	1,130,434	1,977,566	

上記のとおり報告いたします。

大井川の清流を守る研究協議会

会長 藺田 靖 邦

## 令和5年度 大井川の清流を守る研究協議会監査結果報告

令和5年度決算並びに事務事業について、令和6年6月11日(火)及び6月25日(火)に事務局職員立ち会いのもと監査をしたので、その結果について下記のとおり報告する。

### 記

1. 令和5年度大井川の清流を守る研究協議会会計の収入、支出について違算なく適正なものと認める。
2. 本会計における事務局備え付け帳簿の整理状況についても良好と認める。

令和6年7月5日

大井川の清流を守る研究協議会

会長 川根本町長 菌田 靖 邦 様

大井川の清流を守る研究協議会

監事 御前崎市長

下村 勝



大井川の清流を守る研究協議会

監事 吉田町議会議長

大石 巖



議案第1号

役員の変更について

大井川の清流を守る研究協議会規約（抜粋）

（役員）

第5条 協議会に会長1名、副会長2名、監事2名の役員を置く。

2 役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

（役員選任）

第6条 役員は総会において定め、会長、副会長及び監事は会員の互選によって定める。

役 職	職 名	氏 名
会 長		
副 会 長		
監 事		

令和6年7月5日

大井川の清流を守る研究協議会長

令和6年度 大井川の清流を守る研究協議会 役員名簿

(敬称略)

	役 職 名	役 職	氏 名
1	会 長	川 根 本 町 長	菌 田 靖 邦
2	副 会 長	牧 之 原 市 長	杉 本 基 久 雄
3		島 田 市 議 長	藤 本 善 男
4	監 事	御 前 崎 市 長	下 村 勝
5		吉 田 町 議 長	大 石 巖
6	会 員	島 田 市 長	染 谷 絹 代
7		焼 津 市 長	中 野 弘 道
8		掛 川 市 長	久 保 田 崇
9		藤 枝 市 長	北 村 正 平
10		袋 井 市 長	大 場 規 之
11		菊 川 市 長	長 谷 川 寛 彦
12		吉 田 町 長	田 村 典 彦
13		焼 津 市 議 長	石 田 江 利 子
14		掛 川 市 議 長	山 本 裕 三
15		藤 枝 市 議 長	油 井 和 行
16		袋 井 市 議 長	鈴 木 弘 睦
17		御 前 崎 市 議 長	渥 美 昌 裕
18		菊 川 市 議 長	山 下 修
19		牧 之 原 市 議 長	村 田 博 英
20	川 根 本 町 議 長	石 山 貴 美 夫	

○ 役員履歴

年 度	会 長	副 会 長	監 事
平成 12 年度 設立～13 年度	川根町長	榛原町長 金谷町議長	本川根町長 御前崎町議長
14～15 年度	川根町長	榛原町長 金谷町議長	本川根町長 御前崎町議長
16 年度	川根町長	榛原町長 本川根町議長	御前崎市長 吉田町議長
16 年 12 月 臨時総会	中川根町長	榛原町長 本川根町議長	御前崎市長 吉田町議長
17 年度	中川根町長	榛原町長 本川根町議長	御前崎市長 吉田町議長
17 年 11 月 臨時総会	川根本町長	牧之原市長 川根町議長	御前崎市長 吉田町議長
18～19 年度	川根本町長	牧之原市長 川根町議長	御前崎市長 吉田町議長
20～21 年度	川根本町長	牧之原市長 島田市議長	御前崎市長 吉田町議長
22～23 年度	川根本町長	牧之原市長 島田市議長	御前崎市長 吉田町議長
24～25 年度	川根本町長	牧之原市長 島田市議長	御前崎市長 吉田町議長
26～27 年度	川根本町長	牧之原市長 島田市議長	御前崎市長 吉田町議長
28～29 年度	川根本町長	牧之原市長 島田市議長	御前崎市長 吉田町議長
30～31 年度	川根本町長	牧之原市長 島田市議長	御前崎市長 吉田町議長
R2～3 年度	川根本町長	牧之原市長 島田市議長	御前崎市長 吉田町議長
R4～5 年度	川根本町長	牧之原市長 島田市議長	御前崎市長 吉田町議長

\*当協議会の設立は、平成 12 年 11 月 27 日。

\*平成 16 年 12 月 24 日、臨時総会開催。(川根町長失職による役員改選)

\*平成 17 年 11 月 23 日、臨時総会開催。市町村合併により構成市町名変更

## 令和6年度 大井川の清流を守る研究協議会 事業計画 (案)

大井川流域で生活する人々がその恩恵を享受し、子々孫々にまで伝え得る清流を守るためには、今後も流域の市町が一体となって大井川の環境保全活動に取り組んでいかなければならない。

また、活動を推進するためには、水源地域や河川環境、海岸線などの現状を的確に捉え、情報を共有することが必要である。

このことから、大井川の現状を知り、ともに考え連携の機会をつくっていくため、今年度において次の事業を実施する。

### 1. 大井川の環境保全, 啓発活動の推進

- ・構成市町の住民を対象に視察会を実施し、大井川の現状周知に努める。

源流部視察 10月 源流部 (井川～田代ダム・榎島) 視察会 (公募)

中流域視察 11月 中流域 (笹間ダム～長島ダム) 視察会 (公募)

下流域視察 12月 下流域 (大井川用水) の現状視察会 (公募)

- ・大井川 環境教育出前講座 (9月～11月)

構成市町内の小学校 (15校程度) の高学年の児童を対象に、大井川の水について学習の機会を作る。

- ・啓発事業

ホームページの運営管理 (活動内容を紹介し、協議会活動の啓発に努める。)

イベントでの活動報告 (構成市町でのイベント等で、協議会活動の啓発を実施。)

### 2. 流域圏活動の推進

- ・会員・幹事等現況調査視察会 8月～10月 リニア中央新幹線工事関連施設

- ・(仮称) 海岸等清掃活動事業 未定 大井川から流れた流木等の海岸漂着物の清掃除去活動



## 大井川の清流を守る研究協議会規約

### (名称)

第1条 この会は、大井川の清流を守る研究協議会（以下「協議会」という。）という。

### (組織)

第2条 協議会は、島田市、焼津市、掛川市、藤枝市、袋井市、御前崎市、菊川市、牧之原市、吉田町、川根本町の各首長及び各議長を会員として構成する。

### (目的)

第3条 協議会は、大井川流域の環境保全と流況改善に必要な調査・研究を行うことを目的とする。

### (事業)

第4条 協議会は、前条の目的達成のため、次の事業を行う。

- (1) 大井川（支流を含む。）の水環境の改善に関する調査研究に関すること。
- (2) 大井川の上流部と下流部の情報交換並びに連絡調整に関すること。
- (3) 国・県及びその他の関係機関への陳情・要望に関すること。
- (4) その他水環境の改善のため必要な事項に関すること。

### (役員)

第5条 協議会に会長1名、副会長2名、監事2名の役員を置く。

2 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

### (役員を選任)

第6条 役員は総会において定め、会長、副会長及び監事は会員の互選によって定める。

### (顧問)

第7条 協議会に相談役及び顧問を置くことができる。

2 相談役及び顧問は、会長が委嘱する。

### (役員会)

第8条 役員会は、必要に応じて会長が招集する。

2 役員会の座長は、会長が努める。

3 相談役及び顧問は、役員会に出席し意見を述べるができる。

4 会長が必要と認めたときは、役員会に関係者の出席を求めて、その意見又は説明を聴くことができる。

### (幹事会)

第9条 協議会の事務を整理するため、協議会に幹事会を置く。

2 幹事会は、各市町の担当課長をもって組織する。

3 幹事会に幹事長を置き、幹事会の構成員のうちから会長が指名する。

4 前条の規定を幹事会の会議に準用する。この場合「会長」とあるものを「幹事長」と読み替えるものとする。

### (会計)

第10条 協議会の活動に要する経費は、各市町の負担金をもって充て、その額は別に定める。

(会計年度)

第11条 協議会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事務局)

第12条 協議会の事務局は、会長の属する市町役所内に置く。

(委任)

第13条 この規約に定めるもののほか、必要な事項は会長が定める。

附 則

この規約は、平成12年11月27日から施行する。

附 則

この規約は、平成14年6月4日から施行する。

附 則

この規約は、平成16年6月23日から施行する。

附 則

この規約は、平成17年5月5日から施行する。

附 則

この規約は、平成17年11月23日から施行し、平成17年10月11日から適用する。

附 則

この規約は、平成20年7月14日から施行する。

附 則

この規約は、平成21年7月14日から施行する。

附 則

この規約は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、令和3年4月1日から施行する。

## 令和5年度 大井川を知る「学校出前講座」レポート

平成21年度から開催している「大井川を知る出前講座」も今年で15年目を迎え、本協議会構成市町(8市2町)の管内小学校を訪問しています。今年度も開催希望のありました学校へ訪問し、出前講座を実施しましたので報告いたします。

① 10月4日	御前崎市立	白羽小学校	4年(1クラス:32人)
② 10月6日	菊川市立	内田小学校	4年(1クラス:28人)
③ 10月12日	島田市立	神座小学校	5年(1クラス:12人)
④ 10月26日	掛川市立	西山口小学校	4年(3クラス:99人)
⑤ 10月30日	牧之原市立	坂部小学校	4年(1クラス:22人)

5校(7クラス:193人)で実施いたしました。講座は約45分です。水について学習は4年生が学ぶ良いタイミングだそうです。今回は4~5年生で実施しました。

講師は、「大井川を知る出前講座」開講からお願いしております小澤節子さん(川根本町下泉)に行っていただきました。小澤さんは、静岡県森林環境教育指導者でもあり、大井川の環境についても大変詳しく、また羽ばたきの森づくり(白羽山)の実践もしておられます。

講座内容は、

- ① 絵地図を見比べて、70年前の大井川と今の大井川の違いは？  
\*気づいた点を発表していただき、検証しながら確認していきました。
- ② 皆さんが飲んでいる水や、田んぼに流れている水はどこから来るの？  
\*大井川からどのような仕組みで家庭等へ水がきているのかを学びました。
- ③ エネルギーのお話し、節電のお話し  
\*大井川は水力発電用のダムがたくさんあり、電気を生む川ということを説明します。
- ④ 大井川の様子について、写真を見ながら学びます。  
\*赤石、光石、(昔、海の底にあったことが分かります。)源流、河川の崩れ、子供たちは、初めて目にする赤石の写真や大水の写真を見て驚きます。

この講座を通して、山・川・海が一連の中で関わっていること、大井川の水が様々

なことに役立っていることを学んでいただき、水を大切にする心、貴重なエネルギーを大切にする心が育まれば幸いです。



御前崎市立 白羽小学校



菊川市立内田小学校



島田市立神座小学校



掛川市立西山口小学校



牧之原市立坂部小学校

令和5年度  
大井川の源流部を学ぶ視察会  
実績報告

視察日 令和5年10月29日（日）



大井川の清流を守る研究協議会

## 日程

期日	項目	時間	行程及び説明内容
10 月 29 日 (日)	島田駅南口 (ロータリー)	7:40	集合
	概要説明	7:40～7:50	研修会の概要説明、視察資料の配布
	四季の里	8:50～9:00	トイレ休憩
	牛の首(小山)	9:20～9:30	大井川で2番目に建設された発電所跡
	畑薙第一ダム	10:40～10:50	大井川上流部に建設された中空重力式(ホーロー・グラビティ)ダムとしては世界で最も高い、高さ125mのダムで、下流の畑薙第二ダムとともに初めて混合揚水式発電を行うダムとして建設された。
	赤崩	11:20～11:30	土砂崩壊地の見学
	樫島付近の 現状視察 (昼食含む)	12:10～13:00	リニア中央新幹線建設工事にかかる 宿舎及び工事ヤードの見学
	田代ダム	13:40～14:30	東京電力からの説明と取水口や流沢 の見学
	燕沢	14:50～15:00	リニア工事に伴う残土置き場の見学
	四季の里	17:50～18:00	トイレ休憩
島田駅南口 (ロータリー)	19:00	解散	

### 【参加者】

一般参加者 17人

(島田市5人、焼津市2人、吉田町2人、袋井市2人、牧之原市2人、藤枝市1人、菊川市1人、掛川市1人、川根本町1人)

講師1人、事務局2人



牛の首 (奥泉)



畑薙第一ダム



畑薙第一ダム



樺島ロッジ (リニア工事現場)



田代ダム



田代ダム

## R5 「大井川の源流部を学ぶ視察会」に関する意見・感想について

○参加者数：17人（内回答者数：17人）

○視察会開催をどのような形で情報をえましたか。

- ・新聞掲載・・・・・・・・・・11人
- ・市町の「広報」など・・・・・・・・5人
- ・友人等からの紹介・・・・・・・・1人

○河床の変化や両岸の山腹崩壊など、大井川上流部の現状を知っていましたか。

- ・知っていた・・・・・・・・・・8人
- ・知らなかった・・・・・・・・・・9人
- ・関心がなかった・・・・・・・・0人

○大井川の現状を視察して、どんなことを感じましたか

- ・大井川の上流部の井川ダム、畑薙第一ダムの堆砂がかなり進んでおり、いつかは土砂で満杯になり、ダムが機能しなくなるのではないかと思います。（掛川市）
- ・自然が崩壊していて大変な事が起きていると感じました。生きていくために必要な水も下流域に来なくなれば生活するのも大変になることを多くの人に知ってもらいたいと思いました。（牧之原市）
- ・自然がなくなっていて大変なことがわかりました。（牧之原市）
- ・自分が思っていた以上に崩壊が進んでいると感じた。田代ダムの役割を初めて知った。（焼津市）
- ・大井川の水が電力発電に貢献していることを実感した。水力発電のトンネルの多さが流水量が少ない原因と理解できた。山の崩壊による堆積土がダムの寿命を短くしていることが理解できた。（菊川市）
- ・電気、産業、飲料、生活用水と大井川から多くの恩恵を受けていると改めて思い知りました。水の問題は人々の生活に大きく影響を与えていると思います。リニアは静岡県にも経済効果があると言われますが、自然が壊れていく状況を見るとマイナス面が大きいと思いました。（藤枝市）
- ・改めて大井川の中流域の表流水の少なさを感じた。川口発電所に水圧鉄管で直接流れる水は相当な量だが本当に下流域がそれだけの水と電力が必要なのか利用状況を是非伺いたい。（川根本町）

- 数年前までは社有林でもあるため、人の出入りも少なく道も悪く雄大な自然が魅力的でした。しかしもう最近に迫るリニア工事でトンネルが掘られ、少なからず自然も水も失われていく現実はとても淋しいものと感じました。そして小澤さんの熟練した説明に、改めて生活を支える大井川の水を尊いものと思いました。どうやって水資源を守っていくか一市民として真摯に考えた一日でした。(島田市)
- 10年ぶりに訪れましたが、道が整備されていて驚きました。大井川の水が少なくてさみしい気がします。小澤さん、東京電力さんの丁寧な説明がとても良かったです。(島田市)
- 河床が上がってしまいこの先川が保てるのか非常に心配です。(島田市)
- 石風呂にも上流の土砂がたくさん運ばれて大井川の幅が半分くらいになっています。今回参加して大井川の上流部を視察しましたが、あちこちの沢から崩壊が起き河床も上がりこれでは水も流れてこないと思いました(島田市)
- 水は普段何もなければ当たり前前に使い恩恵を感じませんが、災害時によるインフラで大変に不自由な生活をしなければなりません。水は人間が生きるための源です。大井川源流の奥部まで入っていただき、ダム現状、水の供給、取水量等、素人では詳しくは分かりませんが改めて水の大切さを感じました。(吉田町)
- 山腹崩壊と大井川の水の少なさに驚きました。水の大切さも改めて知りました。(吉田町)
- 自然の大切さと水の大事なこと。水が無ければ自然も繁生できないので緑豊かな土地は大事なこと。(袋井市)
- 大井川はそんなに身近ではなかったので、実際に車窓から見て大井川の水量が非常に少ないことに驚きました。水量とダムの関係や沢が崩れている状況、リニアトンネル開設の問題など、多くの問題があることを知りました。大井川の自然と環境を守るための手立てが急務であると思いました(袋井市)
- 国、県、市町村で協力してこれ以上の崩壊が進まないように努力してほしい。(焼津市)

○行政や流域住民はどんなことをやっていったら良いと考えますか

- 上流部の山腹崩壊やダムへの堆砂について、より多くの人に大井川の現状を知ってもらうことが必要だと思います。(掛川市)
- 山の開発をやめることが一番だと思います。森林伐採をしてソーラーパネルを設置しているところも近年多く見られるので一定の規則を設けるなど。リニア工事による土砂の問題ももっと知ってもらえるように SNS などで写真と共に広めるなど。若者に興味をもってもらいたい。(牧之原市)
- 自然を壊さないように人々が気を付ける。(牧之原市)
- 川や海を汚さないように浄化槽管理を徹底する。(焼津市)
- 大井川の濁りのない水量を増やすには水力発電量を減らすことと思う。そのためには水力発電とそれ以外の方法とのバランスが必要と思う。水力以外の発電を考えると原発、風力、地熱、太陽光等の推進運動が必要。(菊川市)
- 大井川の恩恵を受けている市町でもっと大井川を知る機会を作る。(藤枝市)
- 河床上昇の推移や水質検査、生物の分布調査をきめ細かく実施し、生命力に溢れた大井川にする。中流域での水返せ運動に役立つ活動を期待したい(川根本町)
- リニアの問題があってこそ私たちは改めて水と大井川を考えました。私の住む場所は災害もなく不自由さを感じない。一市民として”水”を真剣に考える場もなかった。だから今こそ、こうした問題に取り組む機会や視察会を増やし多くの人に協議会への参加を提供してほしいと思います。(島田市)
- 自然を残しながら観光に力を入れて訪れる人が増えるといいなと思います。(島田市)
- 川の現状を流域地区、県民みんなに知ってもらう。(島田市)
- これからも多くの人達に川の現状を見てほしいと思います。また近隣の市町の広報誌などで知ってもらう事もいいかと思っています。(島田市)
- JR 東海のリニア工事の問題に県知事も見解し未だ先行き不透明ですが、人間の命を守る水を第一に考えて保全していただきたい。(吉田町)
- 掛川市倉真地区にある松葉の滝のように新東名が出来てから滝の水が消えた。その様な事が無いように治水のパトロール目的で大井川周辺のウォ

ーキングなど。(袋井市)

- 利便性を求めるための開発をすることにより、生物にとって大切な自然を壊している現状を私たちは意識して情報を得るようにしないといけないと思いました。また、行政も積極的に情報を流したり、自然を守るための手立てを考えていただければと思います。(袋井市)
- 視察会を電力会社、その他企業の支援をいただき引き続き頑張ってもらいたい。(焼津市)

## ○その他

- このような視察の場がなければ何も知らない興味もわからない他人事のような問題でした。とても勉強になり周りの人たちにも広めて行こうと思いました。(牧之原市)
- この協議会の組織に民間を加えたらどうでしょうか。幅広い意見が集まるとと思います。(菊川市)
- 大井川に関するあらゆる資料をホームページで閲覧したい。意見交換会も開いてみたい。(川根本町)
- 塩郷堰堤上流に砂利が堆積し、毎年ダンプカーによって下流に運んでいる。川岸に積んで川幅が狭くなり、被害が出るのではないかと心配です。何か砂利で利益が出るような方法はないでしょうか。永久につづくのではと思われまます。また茶園も埃をかぶり、道路の痛みも目立ちます。(島田市)
- 講師の小澤先生のお話が分かりやすくてとても勉強になりました。このような良い機会を設けてくださりありがとうございました。あの紅葉がきれいで豊かな森林がリニアのトンネルの土のために壊されてしまうのかと思うと本当にリニアが必要なのかと疑問に思いました。(袋井市)
- 一般では入れない現状を見せていただきありがとうございます。(焼津市)

# 令和 5 年度

## 大井川用水を学ぶ視察会（実績）



相賀浄水場（大井川広域水道企業団）

**期日：令和6年3月1日（金）**

**場所：大井川下流域**

**主催：大井川の清流を守る研究協議会**

## 令和5年度 大井川用水を学ぶ視察会 日程表

日 時	令和6年3月1日(金)	8:40 集合 JR島田駅南口
8:30	島田駅 受付開始 (南口)	
	↓	8:30~受付
8:50	島田駅南口出発	
	↓	
9:10	島田市相賀 相賀浄水場(大井川広域水道企業団)	
	↓	9:10~9:50
10:00	川口発電所・川口取水工	
	↓	10:00~10:45
10:55	島田市神座 神座分水工	
	↓	10:55~11:25
11:45	(昼 食) ふじのくに茶の都ミュージアム カフェレストラン丸尾原	
	↓	11:45~12:45
12:55	牧之原貯水施設	
	↓	13:00~13:40
13:55	島田市神谷城 松島分水工	
	↓	13:55~14:15
14:25	菊川市富田 菊川頭首工	
	↓	14:25~14:45
15:05	(トイレ休憩) 島田市 静岡空港	
	↓	15:05~15:30
15:50	島田市 栃山頭首工	
	↓	15:50~16:20
16:40	島田駅南口	



【相賀浄水場】説明者：大井川広域水道企業団



相賀浄水場



【川口発電所】説明者：中部電力(株)静岡水力センター



川口発電所



【神座分土工】説明者：小澤節子 氏



【牧之原貯水施設】説明者：小澤節子 氏



【松島分水工】説明者：大井川右岸土地改良区



松島分水工



【菊川頭首工】説明者：大井川右岸土地改良区



菊川頭首工



【栴山頭首工】説明者：大井川土地改良区



栴山頭首工

## 令和5年度 大井川用水を学ぶ視察会に関する意見・感想について

○参加者数：35名

(島田市 11名、牧之原市 8名、吉田町 4名、焼津市 4名、  
藤枝市 3名、掛川市 2名、菊川市 2名、川根本町 1名)

内、回答者数：34名

### 1 視察会開催について、どのような形で情報を得ましたか。

- ・各市町からの情報提供 19名
- ・新聞 13名
- ・友人や職場からの情報提供 2名

### 2 大井川の水利用の現状について知っていましたか。

- ① 知っていた 14名 (42%)
- ② 知らなかった 19名 (58%)
- ③ 関心がなかった 0名 (0%)

### 3 今回参加して、どのようなことを思いましたか。

- ・大井川の水が広範囲で使用されていることがわかり参考になった。(焼津市：男性)
- ・おいしい水の経路や、どうしてできるのかが勉強できて楽しかったです。(牧之原市・女性)
- ・大井川水系の水が広範囲に利用されていることに驚きました。「60万人の命の水」はオーバーな表現ではないですね。南アルプスに穴をあけて大井川水系の水が減ることは止めていきたいです。(島田市：男性)
- ・大井川の水が如何に大事かが分かった。牧之原台地西部地区にも供給されていることは知らなかった。(藤枝市：男性)
- ・私たちの水利用は多くの施設に支えられている。安心・安全な水が利用できる幸せ。(牧之原市：男性)
- ・様々なところでいろんな人が努力しているんだと改めて感じました。小澤さんの説明がわかりやすかったです。(牧之原市：女性)
- ・大井川下流及び牧之原台地はかつて水不足に悩み続けた過去があり、明治時代から水利用を8市2町に分配する苦労を改めて知り、大変勉強になりました。(牧之原市：男性)
- ・水のありがたさを再認識するとともに普通に使っている水が手元に来るまでに様々な施設や人間の手を経ていることに感謝の気持ちでいっぱいになりました。(島田市：女性)

- ・ 普段何気なく使っている水道水ですが、大井川からトンネルを  
通って私たちの家庭の蛇口に通っているのは驚きでした。(牧之  
原市：女性)
- ・ 限りある大井川の水資源を発電、農業、工業、生活と用途別に  
焼津～菊川の広範囲に実に効率的に分け合って大切に利用して  
いると感じました。(焼津市：男性)
- ・ 水が作られる過程だけでなく、歴史を併せて話してもらえたこ  
とから、水という資源の大切さをより感じました。(牧之原市：  
男性)
- ・ 貴重な大井川の水を広域に効率よく利水したことに感心し、今  
の地域の人々の生活の幸せをもたらしたことに感謝する。(吉田  
町：男性)
- ・ 大井川の水は高度利用され、複雑化している中、関係者の事業  
分担がされており、用水利用の仕組みがよくわかった。(水道企  
業団：男性)
- ・ 大井川下流の人がもっと水のことに興味をもってほしいと思  
いました。(島田市；女性)
- ・ 相賀浄水場や川口発電所などいつも通って見慣れた場所もなか  
なか見学できませんでしたが、詳しい説明もありとても良い機  
会に見学できて勉強になりました。(島田市：女性)

**4 これから行政・流域住民は、どのようなことを行ったらよいと考  
えますか。(考え方なども含めて具体的に記入してください)**

- ・ 用水（水道、工業、農業）にはコストがかかっていることを知  
るべき。料金に対して理解が得られると思う。(焼津市：男性)
- ・ 現状でも大井川を流れている水は少ないが、更に源流から減ら  
すことは反対するよう広報で示してもらいたい。(島田市：男性)
- ・ 今回のような機会は現状を理解するために重要だと思います。  
(焼津市：男性)
- ・ 大井川の水の恩恵を受けている市町がこのような企画を積極的  
に行うべき。義務教育において大井川の水について学ぶ機会を  
持つようにする(掛川市：男性)

**5 その他**

- ・ 上流の川口取水口から水の流れに沿って見学ルートにするとも  
っとわかりやすいと思います。(水道企業団：男性)
- ・ 大井川中流域の発電所見学もお願いします。(島田市：女性)

令和 5 年度  
リニア中央新幹線建設に伴う先進地視察  
実績報告

視察日 令和 5 年 9 月 30 日（土）



大井川の清流を守る研究協議会

## 出席者

### 【大井川の清流を守る研究協議会会員】（敬称略）

市町名	首 長	議 長
島田市	染谷 絹代	藤本 善男
焼津市	副市長（代理） 福與 直己	石田 江利子
掛川市	副市長（代理） 石川 紀子	—
藤枝市	副市長（代理） 河野 一行	山根 一
袋井市	副市長（代理） 青木 郁	—
御前崎市	柳澤 重夫	増田 雅伸
菊川市	長谷川 寛彦	山下 修
牧之原市	—	植田 博巳
吉田町	田村 典彦	大石 巖
川根本町	藺田 靖邦	—

## 工程表

時刻	場所	概要
7：30	島田市役所	出発
10：00～11：00	山梨実験センター	リニア中央新幹線 概要説明 走行試験立会
11：15～11：50	山梨県立リニア見学センター	視察
12：30～13：10	昼 食	
13：40～14：00	山梨県流通センター	橋梁工事 概要説明
14：20～15：00	釜無川	橋梁工事視察 取材対応
17：00	島田市役所	到着



リニア走行試験立会



リニア見学センター



山梨県流通センター



釜無川



釜無川